

八雲やぐも立つ 出雲いづも八重垣やへがき つまごみに

八重垣やへがきつくる その八重垣やへがきを

この和歌は、当社の御祭神須佐之男命すさのおのみことが櫛名田比売くしなだひめを妻に迎え、新居を出雲の地に定めた際にお詠みになったものです。『古事記こじき』の中で最初に出てくる和歌でもあり、平安時代前期の歌集『古今和歌集こきんわかしゅう』の「仮名序」では、この歌から和歌の三十一文字が定まったと書かれており、日本最古の和歌とされています。

須佐之男命すさのおのみことというと、八俣やまたの大蛇退治おろちの話が有名で、強く荒々しい神様という印象ですが、和歌を詠む情味ある一面もございます。

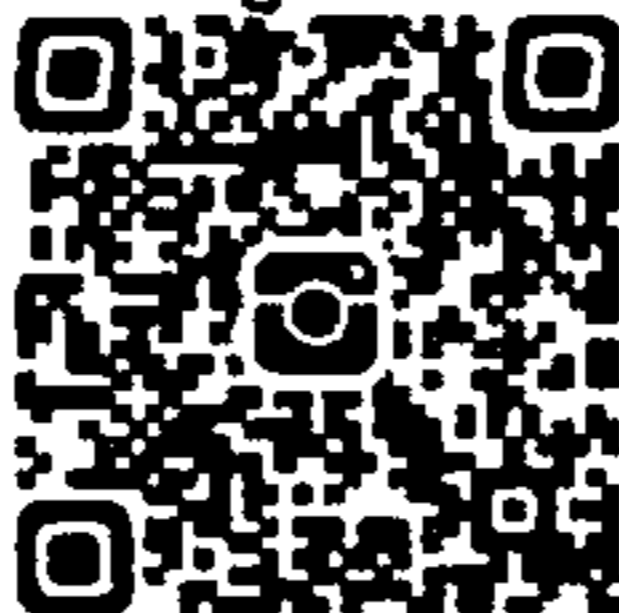
牛嶋神社

Twitter



@ushijima_jinja

Instagram



@ushijima145

